

一 南総地区の人口 一

人口	22,679人
男	11,428人
女	11,251人
世帯数	10,281世帯
平成30年11月1日現在	

# ふれあい

## 地域で守ろう『福祉のまち、南総』

編集 南総地区社協  
 広報委員会  
 発行責任者 地区社協会長  
 小澤 誠司  
 事務局 南総地区  
 推進センター  
 電話 92-1481

### 「南総地区福祉行動計画」決定する

南総地区の皆様、日頃は南総地区社会福祉事業運営にありたり、ご支援ご協力を頂き、有難く感謝申し上げます。平成三十年度も後半に入り、本年度の事業計画も皆様のご協力を頂き順調に推められております。

前回の広報紙「ふれあい」にて、皆様にご協力をお願いを致しました、新たな高齢者福祉事業「通いの場」(月一回)につきまして、本年度分は十月末をもって受付が終了となりました。南総地区は皆様のご協力により、十九団体の方々が活動に入りました。ご協力ありがとうございました。

また、今後更に進行する少子高齢化社会における地域福祉を強固なものとし、福祉施策の明確化を図るため地域の代表者で発足致しました「南総地区福祉行動計画策定委員会」が平成二十九年十二月にスタートし、慎重審議を重ね平成三十年九月に「南総地区福祉行動計画」の策定が完了しました。

今後、「南総地区福祉行動計画策定委員会」が「南総地区福祉行動計画推進委員会」として本計画の進行管理を担い、関係団体と連携しながら計画の推進に努めて参ります。

本計画における「基本目標の一つに「みんなの生活を支えるための体制づくり」が掲げられていますが、その中で地域全体で支える仕組みづくりを進めるための「話し合い・協議の場」として、十一月から、介護保険法に基づく「第二層協議体」が設置され、「南総地区行動計画推進委員会」の皆様の業務により、活



通いの場 (下矢田球友同好会)

動が開始されました。地域全体における幅広い活動が期待されます。

なお、南総地区の皆様は、「南総地区行動計画」の指針をご理解頂き地域ぐるみの推進を図るため、この冊子を町会長を始めとした社協構成団体の皆様へ配布、また南総地区のご家庭全戸に「南総地区行動計画概要版」を配布致します。

地域の皆様のご理解ご協力をお願い致します。  
 (会長 小澤 誠司)

**敬老会事業の先にあるもの**

長年秋の恒例事業となつていました敬老会事業は、昨年度をもって終了し、今年度からは、高齢者の健康維持やコミュニケーション、生きがいにつながる「通いの場」推進事業が始まりました。

ふれあい三六号でもご紹介しましたが、地区社協の積極的な取り組みと地域住民の深いご理解により、現在十九団体で「通いの場」が展開されておりです。

「地域福祉」という言葉が使われて久しくなりましたが、当初漠然としていたものが、今ではかなり明確になってきたと思います。

南総地区においてもこの「ふれあい」発行にあたって、当時の南総地区社会福祉協議会の木嶋美佐夫支部長が南総地区の地域福祉のコンセプトを「支えあい・ふれあい・助け合い」とし、地域の誰もが安心して暮らせる福祉社会を目指して、その一歩を踏み出しました。

その後、河津敏郎支部長の時代に大きな変革があり、小

【平成30年度福祉バザー実績報告】

バザー売上げ	486,900円
模擬店売上げ	6,100円
寄附金	182,880円
合計	675,880円

福祉バザー

バザーの収益金は、新年を迎える時期に生活支援を必要とする人々たちへの見舞金などに使われます。

今年も、十一月十八日(日)に開催し、各種団体のご協力と地域の方々の善意によって、多くの収益を上げることができました。皆様に心から感謝致します。

### 賛助会費実績報告

地区社協では、平成十八年度から賛助会費のご協力をお願いしており、本年度も多くの皆さんからご支援を頂き、十一月末現在で一、二七三、二〇〇円となりました。皆さまのご厚意に深く感謝申し上げます。

ご協力頂きました賛助会費は、地区社協の事業推進のための貴重な財源として有効活用させて頂きます。

今後益々増大する地域福祉課題に対しては、各種団体のご支援ご協力の下、生涯この南総で安心して暮らせるまちづくりに努めてまいります。

今後とも地区社協運営にご理解ご協力をよろしくお願い致します。

平成30年度南総地区賛助会費実績報告 (H30. 11月現在)

	協力者数	金額
個人	753	918,100円
団体	73	355,120円
合計	826	1,273,220円

表彰おめでとうございます

- 市原市表彰(自治功労) 佐藤 みか子さん(上高根)
  - 市原市表彰(自治功労) 録滝 收勇さん(平蔵)
  - 市原市表彰(社会功労) 外崎 弘文さん(中)
  - 市原市表彰(社会功労) 斉藤 里枝さん(皆吉)
- 十五年にわたり、市原市介護認定審査委員会として介護保険事業の推進に寄与された
- 十五年にわたり、市原市農薬委員会委員として農薬振興の発展に尽力された
- 二十六年にわたり、市原市スケート協会役員として地域のスポーツ振興に尽力された
- 十五年にわたり、地域保健推進員として地域の健康づくりに尽力された



# トピックス

## 地に足をつけた地域福祉の推進

南総地区社協では、地域福祉のさらなる推進を図るために、昨年十二月九日に第一回「南総地区行動計画策定委員会」を開き、その後も策定委員会において計画案を議論し、今年七月二十一日に開催した第六回策定委員会において、「南総地区行動計画」がまとまりました。

この行動計画には地域ぐるみの福祉に積極的に取り組むために、独居世帯の高齢者を地域で支援する「安心生活見守り支援事業」など、今まで地区社協において取り組んできた重要な事業の維持拡充を基本として、着実にその成果があがるよう各施策の目標を明確にしています。

この行動計画とこれまで培われてきた地域住民同士の互助により、さらに南総地区の地域福祉が充実していくものと期待されております。

また、この行動計画においては、地域福祉の推進役を育むことを掲げておりますが、現状を分析すると高齢者が高齢者を見守るようなケースが見受けられ、今後若き世代の参画が必至となっており、そのために、地域の方々の一層の理解と、参画を促す仕組みを新たに考えていくことも明確な課題となっております。

地区社協では、この行動計画を基盤に据えつつ、地域福祉を支える人づくりに力を入れていくと考えています。

今後とも、南総地区の地域福祉の推進と発展のため、皆様方のご理解とご協力をお願い致します。(編集委員)

委員七〇名の参加を頂き行いました。今年の避難訓練は、十一月二十三日(金・祝)九時から各町会・自治会ごと、いったん安全な場所(自治会館等)に避難して頂き、町会員皆さんの安全を確認後、二五二名の方々に九時四〇分を目安に戸田小体育館前に集合して頂きました。

### 戸田小学校区 小域福祉 ネットワーク

避難所開設・避難訓練

戸田小学校区小域福祉ネットワークでは、高齢者部会、環境部会、子供部会の三部会で活動しておりますが、今回は戸田小学校区小域福祉ネットワークが中心となり、三三町会長さんにもご協力頂いた避難所開設・避難訓練についてご報告させて頂きます。

始まりは、平成二十七年四月戸田小域ネットワーク員一五名にて、災害はいつくるかわからない、人生一度の尊い命をいかに守るか、という事で始まりました。毎年三回、五・八・十月に七〇名前後の運営委員にて勉強会を開き、十一月に避難所開設・避難訓練を実施して参りました。

それ以来今年で四回目の避難訓練になります。今年も三回避難訓練の勉強会には運営

委員七〇名の参加を頂き行いました。今年の避難訓練は、十一月二十三日(金・祝)九時から各町会・自治会ごと、いったん安全な場所(自治会館等)に避難して頂き、町会員皆さんの安全を確認後、二五二名の方々に九時四〇分を目安に戸田小体育館前に集合して頂きました。



避難所開設・避難訓練 (戸田小)

### 寺谷小学校区 小域福祉 ネットワーク

資源回収

永年古紙の集団回収に取り組んでいる団体として、「公益財団法人古紙再生促進センター」より感謝状が贈呈され、伊藤前会長が贈呈式に出席しました。関東では一三団体、千葉県からは原市と印西市の二団体が授与されました。

資源回収事業は、大切な資源の再生利用・再使用を図り、ゴミの減量化に繋げる目的があります。寺谷地区では子ども達に資源の大切さを伝えるため、回収日には地域の「こども会」も参加し、分別作業と一緒に取り組んでいます。

二年前の話になりますが、寺谷小学校から四年生に「資源回収について」授業の機会を頂きました。緊張の初教壇を経験しましたが、子ども達の熱心な雰囲気を感じられました。後日頂いたお礼の手紙の一部を紹介致します。

「ぼくは、資源のたいせつさがわかりました。これからは、資源を大切に、ごみをへらせるとりくみをお願いします」

私が伝えたかった事をしっかりと受け止めてくれました。さて、今年度半期分の資源回収量を前年度同期から見ますと、古紙類を筆頭に減少し、特に新聞紙の減少が目立ちます。



感謝状贈呈式

### 鶴舞踊りの会

旧浜松藩の城下町である鶴舞は、南部の中核として発展して、明治から昭和にかけて人口も多く、料理屋があり芸者さんもたくさんいて賑わっていました。

昭和六年に鶴舞民謡(吉原染太郎作詞・中山晋平作曲)が作られて、市丸が唄ってレコード化し、芸者さんが唄い踊って広まりました。

昭和二十一年からは学校でも教えられました。数年前からには伝統ある唄と踊りを更に広めようと、地元有志が忘れられていた唄も探しだし、「鶴舞踊りの会」として、

①鶴舞民謡②鶴舞小唄③鶴舞盆踊り唄④鶴舞音頭をまとめて発表しました。

平成二十九年頃から、市原市市民活動事業として認定され、町会の盆踊りや小学校の

運動会、鶴舞公園の観桜会、鶴舞駅の花見列車、市民文化祭等で唄と踊りを披露しています。高島会長以下、四七名は町内だけでなく、光風台や姉崎からも参加している五十代、八十代と高齢者主体の踊りの会ですが、歌い手や伴奏の太鼓、三味線、尺八も加わって元気に活動しています。

今後の活動に向けては、協力の呼びかけや収集方法の創意工夫により収集量を増やし、事業の更なる活性化となるよう、地域福祉に取り組みしていきます。

私が伝えたかった事をしっかりと受け止めてくれました。さて、今年度半期分の資源回収量を前年度同期から見ますと、古紙類を筆頭に減少し、特に新聞紙の減少が目立ちます。

### 編集後記

先日、散歩をしていたら小学校の安全パトロールを知っている生徒もいたので声をかけたところ、中学三年になったと知り、知らないうちに大きくなったと驚くとともに、自分がその分、年をとったんだと感慨深い経験でした。

この度、「住民主役で地域のきずな福祉のまち南総」という基本理念の下で基本目標が定められました。編集会議の中で、今後最も大切で緊急の課題は活動の担い手の充実ではないかと話題になりました。

現在活動を担っているのは高齢者が中心であり、勤労者や学生は参加していません。将来の人材育成のために小学生の社会体験で福祉活動を「知っている」かどうかと意見があり、一考の余地があると思われず。

短期、中期の人材育成は切迫した超高齢化での福祉の対策として大切な取組みだと思います。

編集委員

河津 敏郎 (内田)  
中島 雅人 (戸田)  
伊藤 陽子 (寺谷)  
加藤 功守 (鶴舞)  
大井 守 (鶴舞)  
渡辺 信一 (平三)

運動会、鶴舞公園の観桜会、鶴舞駅の花見列車、市民文化祭等で唄と踊りを披露しています。高島会長以下、四七名は町内だけでなく、光風台や姉崎からも参加している五十代、八十代と高齢者主体の踊りの会ですが、歌い手や伴奏の太鼓、三味線、尺八も加わって元気に活動しています。

右奥には、児童館があります。市内在住の〇歳から十八歳未満の子どもが利用できる施設です。年齢の異なる子ども達と一緒に遊んだり様々な体験をしながら、共に育っていく地域の遊び場です。

### なほな館情報

児童館では、未就学児とその保護者を対象とした子育てクラブ「ほっぷ」「すてっぷ」「じゃんぶ」を毎週開催しており、なかでも「すてっぷ」の簡単な工作や、「じゃんぶ」の小道具を使ったダンスは大好評です。

月曜日の休館日を除く、午前九時〜午後五時まで開館しております。保護者からの子育てに関する相談もお受けしておりますので、気軽に声をかけて下さい。

なほな館の入口を入って

児童館では、未就学児とその保護者を対象とした子育てクラブ「ほっぷ」「すてっぷ」「じゃんぶ」を毎週開催しており、なかでも「すてっぷ」の簡単な工作や、「じゃんぶ」の小道具を使ったダンスは大好評です。

月曜日の休館日を除く、午前九時〜午後五時まで開館しております。保護者からの子育てに関する相談もお受けしておりますので、気軽に声をかけて下さい。

なほな館の入口を入って

なほな館情報

児童館では、未就学児とその保護者を対象とした子育てクラブ「ほっぷ」「すてっぷ」「じゃんぶ」を毎週開催しており、なかでも「すてっぷ」の簡単な工作や、「じゃんぶ」の小道具を使ったダンスは大好評です。

### なほな館情報

児童館では、未就学児とその保護者を対象とした子育てクラブ「ほっぷ」「すてっぷ」「じゃんぶ」を毎週開催しており、なかでも「すてっぷ」の簡単な工作や、「じゃんぶ」の小道具を使ったダンスは大好評です。

月曜日の休館日を除く、午前九時〜午後五時まで開館しております。保護者からの子育てに関する相談もお受けしておりますので、気軽に声をかけて下さい。

なほな館の入口を入って

児童館では、未就学児とその保護者を対象とした子育てクラブ「ほっぷ」「すてっぷ」「じゃんぶ」を毎週開催しており、なかでも「すてっぷ」の簡単な工作や、「じゃんぶ」の小道具を使ったダンスは大好評です。

月曜日の休館日を除く、午前九時〜午後五時まで開館しております。保護者からの子育てに関する相談もお受けしておりますので、気軽に声をかけて下さい。

なほな館の入口を入って